

1月7日 (火)

私たちの隠れ家

聖書朗読 詩篇11章

主に私は身を避ける。どうしてあなたがたは私のたましいに言うのか。「鳥のようにおまえたちの山に飛んで行け。」

詩篇11:1

危険やストレスを受けた時の人間の反応は、戦うか逃げるかです。あなたの回りの世界が混乱している時それ以外に何ができるでしょう。。

世間一般には、2つの選択肢があります。一つは、戦うことです。なるべく早く始め、攻撃される前にこちらから攻撃するのです。情けは無用です。もう一つは、山の要塞に隠れ、すべての侵略者やその影響に備えて防備を強化することです。

しかし、詩篇の作者は3番目の違う方法を勧めます。攻撃の作戦を練ったり、あらゆる危険を避けるために作られた人里離れた所に行くようには言っていません。その代わりに作者は、聖なる宮におられ 天の御座に座っておられる主に避けどころを探します。

詩篇11篇は、主は見ておられ、知っておられると言うことを思い出させてくれます。主のもとに身を避けなさい。悪を罰し、義を擁護し、正義を実行される主を信じなさい。主に身を隠しなさい。神のタイミングを信じなさい。主の御顔を求めなさい。

讃美歌 267

祈り 親愛なるお父様。私たちの周りに見える悪を恐れ、戦いたくなったり隠れたりしたくなります。心を落ち着け、あなた様が義なる方であり、正義を愛するお方であり、あなたが全てをコントロールされていることを思い出させてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

タミー・ディトモア
カルフォルニア州 ニューベリーパーク

1月8日 (水)

主をほめたたえよ

聖書朗読 詩篇26篇

私は、数々の集まりの中で、主をほめたたえましょう。詩篇26:12

私たちが集まって主を礼拝し 神を讃えるのはなんと美しいことでしょう。きちんとした礼拝であっても、友人たちとの砕けた感じの場であっても、共に神様を讃えると神様の恵みと憐れみに感謝したい気持ちになります。

自分を讃えるのは易しいです。詩篇26篇には「私」と言う言葉が何度も出てきます。「私は誠実に歩み」「私は不誠実な人とともに座らず」「悪を行う者の集まりを憎み」さっと読んだだけでは、作者のダビデは自分自身を讃えたいようにも見えます。

自分を讃えることから、神様を讃えることに変化したのは3節のところでは。「あなたの恵みは私の目の前にあり あなたの心理のうちに 私は歩み続けました。」ダビデが「私」と言ったのは、自画自賛するためではなく、神様の導きに感謝するためでした。

神様をほめ讃えるために集まることは、いかなる時でもいいことであると言えると思います。

讃美歌 539

祈り 親愛なる主よ。素晴らしい集まりであなたをほめ讃えさせていただけましたことを感謝します。私をあなた様の子供としていただきましたことを感謝します。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ロバート・R・ミューレン
テキサス州 リッチランドヒルズ

1月9日（木）

私の罪は赦された

聖書朗読 詩篇32篇

幸いなことよ。そのそむきを赦され 罪をおおわれた人は。詩篇32：1

私は70年に渡ってバプテスマを授けてきましたが、いまだかつて水に沈められた後水から上がるときに、しかめっ面をしていたり、悲しい顔をしている人に会ったことはありません。満面の笑みで喜びにあふれた顔をしています。なぜなら、自分が救われたこと、全ての罪が洗い流されたと知っているからです。「幸いなことよ。そのそむきを赦され 罪をおおわれた人は」と書いたダビデと同じ気持ちなのだと思えます。

私たちが一旦リラックスした気分になしてから、悪魔は私たちの人生に戻ってきます。私たちは前に犯した罪をまた犯そうとはしませんが、犯してしまいます。それに加えて新しい罪を犯す可能性さえもあるのです。

ダビデ王と使徒パウロは同じ問題を抱えていました。この二人はこのように問題を解決しました。ダビデは詩篇32篇にこう書きました。「私は自分の罪をあなた(神)に知らせ 自分の咎を隠しませんでした。」パウロはローマ書7章と8章で御霊が弱い私たちに助けをくださると書いています。私たちが祈る時、神のみこころに従って聖徒たちのために御霊はとりなしてくださるのです。神様の赦しと力に信頼することは、神様との調和の中に自分を戻すことになります。

私たちが自分の罪を神様に告白すると神による平和を得られます。なんというありがたいニュースでしょうか。自信と笑顔で神様の足跡に従っていくことができます。

讃美歌 II 167

祈り 親愛なる天のお父様。私の罪を赦す道をくださってありがとうございます。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ジム・ラバネル
テキサス州 ケイティ

1月10日（金）

大胆に語る予行練習

聖書朗読 詩篇39：1～5

同じように、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さな火が、あのような大きな森を燃やします。ヤコブ3：5

私があるところで座っていると、隣の2人の女性が私の友人のことを話していました。私は、その間違っただ話を訂正することも友人をかばうこともしませんでした。そして、その後の数日間を最悪な気分でも過ごしました。時間が経つに連れて苦悩は増していきました。何度も自分はあの時何を言えば良かったのかと思い巡らしました。

あなたは沈黙が 言葉を発するよりも害になった経験をしたことがありますか。私が沈黙していたことで、友人へのデマと間違っただ見方を継続させてしまったのでした。

いろんな状況に置かれた場合、大胆にどう語るかを前もって予行練習することは助けになります。そういう状況ですんなり言えるように声に出して練習しましょう。私はこういった質問を投げかけます。「彼/彼女ってどこかいとこなかったっけ？」「あなたがその人について感謝できることを話しましょう。」「彼/彼女を評価できることは何でしょうね。」こういう質問はネガティブさを追い払えますし、元の会話に集中することができます。

詩篇39篇では 私たちが言葉に出さないことによって引き起こされる結果が描写されています。それは苦悩、胸焼け、自制心の悲しさ、人生の短さに対する無知です。私たちは声に出していいのです！神様はいつも私たちの声を聞いてくださり、嘆く時に耳を傾けてくださいます。私たちはいつも神様に希望を置き、神様だけに希望を持つのです。

讃美歌 II 26

祈り 親愛なる神様。私たちが臆病になってしまう時、ダニエルのような勇気を、エステルのような粘り強さを与えてください。真実を話す時イエス様のような愛を与えてください。

エリン・E・マケンドリー
テキサス州 ミルサップ

1月11日（土）

経験を語る

詩篇40：1～5

さあ、神を恐れる者は、みな聞け。神が私のたましいになさったことを語ろう。

詩篇66：16

本日の聖書朗読箇所は詩篇40篇には、次々と起こる出来事が書き並べてあります。まず、ダビデは非常な困難な状況に耐えている最中でした。その苦しみの中で神様の助けを叫び求めたのでした。彼が祈ったので、神様は彼を助けてくださいました。この素晴らしい救いの経験がダビデに神様を賛美することを促しました。その結果、この箇所を読んだ人が、神様がダビデになされたことを見て神様に信頼することを学ぶことができました。

今を生きる私たちもダビデと同じような体験をすることができるのでしょうか。私たちは困難に立ち向かう時、助けを求めて祈ります。神様が祈りを聞いてくださった時、神様をほめたたえるだけでなく他の人に神様が自分に何をしてくださったか伝えることが正しいお礼の仕方です。私たちの経験を聞いた人たちは、助けてくださったご本人の神様に興味を持ってくれるかもしれません。

神様の愛の深さを個人的に経験した人は、ごく自然に他の人たちにも同じような経験をしてもらいたいと願わないでしょうか。

讚美歌 II 150

祈り 親愛なる神様。あなた様が私の人生になさってくださいましたことを私の周りの人たちが見ることができますように。それによって、あなたを知る喜びを味わうことができますように。

イエス様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

デイビッド・ギブソン

テキサス州 コマース

1月12日（日）

何も要らない人のために

聖書朗読 詩篇100篇

私は、私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

ピリピ4：13

詩篇100篇を読むのが必要な人は誰でしょうか。必要なものを全て持っている人です。私がちよっとした成功を収めた時や物事が上手く行っている時、詩篇100篇は必要です。私は経済的な成功だけを言っているではありません。何かを達成したという意味での成功です。しかし、成功すればするほど、自立すればするほど詩篇100篇を読むことが必要になってきます。必要なものは全てであると思う時こそ詩篇100篇を読む必要があります。

神様が私たちを祝福すればするほど、私たちは神様を必要としなくなっていくという傾向にあるのは悲しいことです。私たちは困難な状況にあるときは熱心に祈りますが、状況が好転するとホッとして祈るのをやめてしまい、それは自分の頑張りや自己鍛錬や自分を律する賢さ故だと思い始めます。完全に神様に頼っていたのに自分に頼り始めます。詩篇100篇は物事が上手く行っている時、主こそが成功の「秘密」であると思い起こさせてくれる大切な聖句です。私たちを作ってくださいましたのは主であり、「主は素晴らしい方」です。

何でも持っているから何もいらないと思い始める時こそ、詩篇100篇が一番必要な時なのです。

讚美歌 270

祈り 親愛なる神様。あなたがお創りになり生かして下さっている世界を毎日楽しむことができるようにしてください。人生の様々な場面で成功させて下さってありがとうございます。

イエス様のお名前によってお捧げいたします。アーメン。

ティム・ウィルズ

カリフォルニア州 マリブ